

備前市事務事業評価表

事務事業名	道路・橋梁新設事業		コード	01-01-11-11
			担当課・係	架橋対策室 架橋対策係
			担当者	井上 哲夫
事業実施期間	H6～H26		電話	64-1877
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	架橋の整備促進		

事業について	
目的 (何のために)	新備前市の南北軸を強化し、地域間の連携を促進する。
対象 (誰・何を対象に)	市民、観光客他
内容	備前市日生町寒河～日生町頭島の市道新設

実施項目	17年度		18年度		回数など
	(単位)		(単位)		(単位)
道路新設工事	延長	1,200.0 m	延長	1,200.0 m	
	幅員	5.5(9.25) m	幅員	5.5(9.25) m	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	120,916	間接補助金等	84,800	直接事業費	388,200	間接補助金等	258,800	直接事業費		間接補助金等	
	人件費	8,440	受益者負担		人件費	9,060	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債		市債	42,400	市債		市債		市債		市債	
	合計	129,356	一般財源等	2,156	合計	397,260	一般財源等	138,460	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.98	人	1.10	人
結果指標名	道路新設工事		道路新設工事	
結果指標量	1		1	
単位	箇所		箇所	
対前年比	-		100.00%	
活動にかかるコスト	129,356,000	円	397,260,000	円
単位当たりコスト	129,356,000	円	397,260,000	円

事業の成果	安全安心のまちづくりとして道路整備は必要不可欠である。日生地区については、合併前から進めている架橋計画は鳥民の悲願であり架橋を建設する事により救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化などが期待できる。		
成果指標名	進捗率（第一期工事区間）	式又は説明	実施事業費計/計画総事業費（第一期工事区間）
	17年度	18年度	
成果指標量	42	58	
対前年比	-	138.10%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	H26

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	安全で快適に暮らせるまちづくり。離島地域の隔絶性の解消、利便性の向上、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化などが期待できる事業
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	費用便益費(B/C)=3.7と事業費を大きく上回る効果が期待できる。便益45,470.9百万円、費用12,311.6百万円(平成17年度日生頭島線第2期事業効果調査報告書)
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい		
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	新市の一体性の向上、地域の活性化が期待できる。
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況		説明	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	事業進捗率	結果指標量
	5%		

総合評価	評価区分 <A~E> A
離島地域の隔絶性の解消、利便性の向上、救急医療などの安全性の確保、産業振興、人口の定着化などが期待できる	

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	工事の効率を図る	毎年	事業費の削減